

さわがせ

号 数 第 3 5 7 号
発行日 令和 8 年 7 月 1 日
発行所 金 光 教 範 教 会
〒 550-0011
大阪市西区阿波座 2-2-10
TEL&FAX 06(6541) 6313
mail: utubo1905@gmail.com



天地金乃神大祭が奉行されました（4 月 29 日）

日々の御祈念を顧みて

教会長 鍵 山 公 生

幼少からの拝礼

幼少の頃の私の仕種をふと思い出しました。

ある朝目が覚め、枕元にあった自分の洋服を抱え、台所で忙しくしていた母親の所へ行って、「着せて」と言うと母は、「こんなに早く起きて来んで、もっとゆっくり寝てたらいいいのに」と言いながら手早く着せてくれました。当時はまだ自分で着ることもできなかったのです。今考えると、私には兄と姉が 4 人いて、朝食の支度やお弁当の準備に忙しくしていた母のことを理解できます。

さてそれから洗顔をして食前に座ると、父親から怖い顔で「神さんにお礼したか！」と言われ、それから急いでお広前に走って行き、チョンチョンアンと手を合わせて食前に戻ったのです。このように朝目を覚ませば、昨夜を無事過ぎさ



せていただいたことを神様にお礼しなければ食事ができず、毎日拝礼しなければならぬということを教えられて育ってきました。とはいってもその頃、充分神様のことを理解していたかといえば、それはなかなか難しいことです。しかし月々のお祭りなどで度々お話を聞かせて頂いている間に、少しづつ神様の有り難いことが子供ながらに理解できるようになってきたのだらうと思います。

日々の拝礼によりその結果は

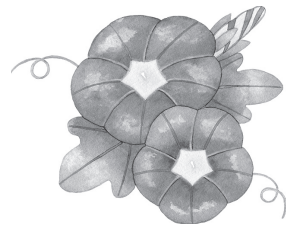
「自分は何を目指して日常生活をしているのか」と振り返ってみました。

教会では毎日何度となく御祈念をさせていただきますが、何を・何のために祈っているのかと考えてみますと、それは勿論自分の家族を含めて世の人々が幸せに、日々を楽しくありがたく生活できるようにと祈っているのです。それは教会に参って来られる人のことだけではなく、世界中の人々を含めてのことです。

金光様は「信心のない人にも平等におかげを授けてやっている」と仰せになっており、皆様のことを願ってくださっています。だからといって教会へは参拝しても、しなくてもいいのではないかと思う人もあるかもしれません。そこに信心する人としらない人との違いがあるのです。信心をする人は、一人ひとりが神様からおかげを頂いていることに気づき、日々をありがたく感謝できる人です。そうなれば神様のお徳をいただき、その後もなお幸せな道を歩むことができるようになってきます。

開門時の祈り

毎朝、表の門を開ける時に外に向かって手を合わせ、
「天地金乃神様、生神金光大神様、昨夜は火難、盗難、不意事、
不意死、不意難なく、安眠のおかげを被り、御礼申し上げます。」と昨夜の無事を振り返ってお礼します。



次に「向かいの小学校に通う子供たちを始め先生方に至るまで事故無く、世のお役に立つ勉強が出来ますように。そして道路に向かっては、この道に繋がる世界の人々が、戦いなく平穏無事に過ごされ、そして「生活上難儀しておられる方々、おかげをいただいております人もこの広前に参拝され、天地の神様の有り難いおかげに気づき、幸せな生活ができますように」と祈ります。

次に教会の境内に向かって、「お広前さん、住まいさん。信徒会館を始めその他の施設さん、そして樹木さん、いつもお世話になりありがとうございます。今日も火難、盗難など無きようよろしくお願いします」と祈ります。

御神前でのご拝礼

教会では毎日欠かすことなく定時の御祈念の時間には拝詞を奏上し、私たちが始め、動植物に命を与え、天地宇宙を司り、酸素、水、太陽、大地の働きなど、

あらゆるお恵み下さる天地金乃神様に御礼を申し上げます。

次に、金光教祖様が日々御祈念しておられた「御拝文」を唱えさせていただき、多種の仕事をされる方、各家庭の問題事なきよう、その他信奉者のお届け、お願い事等が成就されますようにと毎日お願いします。

またその上に、「一日千人祈願、御祈念帳」に書き記された信奉者の住所・氏名を唱え、職場に於いてそれぞれの仕事が都合よく、健康で働けるようお願い、あるいは通学・通園する人達は、善き学問を身に付け、世のお役に立つ人に育ちますようにと祈らせていただきます。そのためには信奉者の皆様から提出された偽りのない家族の現況届けを申し上げ、それぞれの問題などを神様にご報告し、それが解決するよう祈らせていただきます。

天地金乃神様御大祭

毎年春の御大祭は5月の第2日曜日に行われていましたが、今年はその日の10日は親教会の御大祭日と重なるので、4月29日に仕えることになり、年頭から信奉者の皆様に予定表を配り、お繰り合わせを頂かれた信奉者が参拝されました。

遠方に住んでおられる方で、事前にご丁寧なお手紙と御献備を送付して来られる方や、お供えの品物をお送り下さる方もあり、或いは是非参拝したいと願っておられたのに、その日は体調が優れず、後日にお断りの便りを下さった方もありました。そのように神様に真心が通じておられることが伝わり、親神様にお届け申し上げました。ところが中には何の通信もなく、如何しておられるかと心配する方もあります。

日々のお届けと御礼

私たちは病気や怪我などに会い、天地の親神様にお願いとお礼のお届けをして、いくらかの御献備をお包みしてお礼を申せば、一応お礼が済んだと考えます。

また、天地の親神様から、私たち一人ひとりが生かされている広大なおかげのお礼は、どうさせていただけば行き届いたお礼になるのでしょうか。それを追求するとなかなか難しいものがあります。そこで日々自宅の神様に、或いは教会に参拝して、御礼の御祈念をさせていただいています。

教会では幾ばくかの山の物、海の物、または畑の作物を供え、花々を飾り、月例祭や御大祭という儀式によって、お礼の言葉を述べ、参拝した信奉者は、御礼の祈念を捧げさせていただくのです。

そして先生のお話を聞かせていただき、信心の稽古をさせていただくのです。

信心にはお礼と、お願いと、お詫びがあると教えられてますが、一番多いのはお願いでしょう。次にお礼でしょう。最後にお詫びすることです。このお詫びは

なぜするのでしょうか。そのことが理解できれば素晴らしいことです。

天地の親神様。即ち私たちの命を育てるために与えてくださっているこの大地、そして水や空気を始め、太陽の熱と光、またそのお働きによって作られた農作物。人間を始め動植物等々。それら人間を生かそう生かそうとしてくださる天地の神様。その一つひとつにいかほどお礼を申し上げてもお礼のし過ぎとは言えません。

おかげをいただくためには心を改め素直になること

教祖様が在世中に、荻原須喜さんと言う女性が、2年も産後の病で回復せず、寝込んでいるということを聞かれた行商人が、金光様のありがたいお話を伝え、初めはお父さんが、次に須喜さんのご主人が金光様の元に参拝され、金光様から聞かれたお話を須喜さんに伝えたところ、須喜さんは自分の至らない心得を振り返り、反省され、それから段々回復され、じっとしておれず杖を付いて金光様の元に参拝されました。その時金光様にお礼を申し上げる言葉も出ないほどでした。そこで金光様は、「今まで痛うて辛かったことと、今おかげを受けてありがたいことのこの2つを忘れるな」と仰せられ、「その2つを忘れさえせにゃ、その方の病気は2度と起こらぬぞ」。また、「これからのう、人が痛いと言うてきたら、自分の辛かった時のことと、おかげを受けて有り難い時のことを思い出して、神様に頼んでやれ。」と仰せになりました。

私たちがおかげをいただいた後は、一度教会にいくらかのお包みを差し出してお礼を申し上げるだけで、全てが済んだと思わず、それから後は、困っておられる人の事を聞けば、そのことをお願いさせていただきなさい。そのように人助けの心を持てば、神様へのお礼が届くことになるかと仰せになったのです。自分の助かることのみで終わらず、人が助かるように願える広い心を持ちたいものです。よく反省するとそこまで気付かなかったことにお詫び申し上げますことです。

ご大祭には、日常に数知れずおかげをいただいてきたことのお礼と、知らず知らずご無礼を重ねてきたことのお詫びをさせていただくお祭りでもあります。

月々の祭典（月例祭・月例霊祭）

月例祭はまず教会に参拝させていただき、日々の信心の稽古をしながら、お礼と、お願いと、お詫びをさせていただく祭典でもあり、そして信心の話を聞かせていただきます。それを積み重ねて神様のお徳と人徳を積ませていただくのです。

月例霊祭は、ご先祖様が私たちを生み育て、また徳を積んで下さったご苦労に対して感謝申し上げ、また御霊様となっても、私たちと神様との間に立って、私たちの幸せを祈って下さっているお礼の心を表すお祭りでもあります。

神様のお繰り合わせをいただいて、祭典に参拝させていただき、おかげを受けていきましょう。

月例霊祭日に、祥月命日の御霊様もお呼び出しして
ご慰霊させていただきます。

ご都合お繰り合わせをいただかれ、ご参拝下さい。
(7月19日・8月23日ともに午前10時30分より)



令和8年7月

- 1日(水) 月例祭執行 午前10時30分
 4日(土) ご本部月参拝 午前6時出発
 5日(日) うりわり墓参 午前7時
 12日(日) 月例祭執行 午前10時30分
 19日(日) 月例霊祭執行 午前10時30分
 祭典後教話、大阪府連盟布教部講師

8月

- 1日(土) 月例祭執行 午前10時30分
 2日(日) うりわり墓参 午前7時
 8日(土) ご本部月参拝 午前6時出発
 9日(日) 月例祭執行 午前10時30分
 23日(日) 月例霊祭執行 午前10時30分
 祭典後教話、大阪府連盟布教部講師



9月

- 1日(火) 月例祭執行
 午前10時30分

夏越の感謝祭 6月21日

半年間無事に過ごさせていただいたことの御礼と、神様へ知らず知らずのうちにやっているご無礼をお詫び申し上げますご祭典と、人形にご無礼をうちのせてお祓いする「人形行事」がお仕えになりました。

